

1988年4月30日発行

郵便振替 小標1-570 加入者名 あいら札幌

111

あいら札幌連絡先

通信担当

Tel 和田 英理子 644-2927

谷 百合子 TEL. 664-0632

今月のなかみ

例会報告...1.2

例会案内...4

竹村泰子さん

シリーズ反原発...5

1-7. 1-7. ...2.3.4

shoko talk...6.7

情報・あとかき...8

『女と政治』

上記のテーマにより4月の例会を行った。

久しぶりに新人1人の参加もあって総勢10名。まず竹村泰子さんから政治に関わるようになったいきさつを聞いた。YWCAに居ていて丸木夫妻の「原爆の図」展

や、水俣の映画上映に加ったりしていたが政治には全く関係がなかった。横路氏が知事になるに当ってポスト横路として、急に立候補をすすめられる条件として三つの事を確認させられたという。

1. 市民運動をつづける
2. 思想信条に反する決議には同意しない
3. 本人が納得するまで入党を強制されない。



選挙となると、ピラミッド型の運動が有利であるので、今までの男性主導の運動体では、個人尊重の平場の思考や行動は不能率と見なされるけれど、ここからの市民運動のあり方としては、個々が平等の立場にあつて、責任を担いつつしかも小異をすててまとまってやるだけの成長が必要だと思った。

国会については主に児童扶養手当の改悪阻止の時の事を聞いた、政府が提出した改正(?)案は、

1. 年収300万円までは手当をもらえたのを200万円までに下げる
2. 離婚した夫の年収が600万円以上あれば支給を打切る
3. 離婚後7年で支給を打切る
4. 未婚の母には支給しないことにする



この他にも、人権侵害も甚しい改悪点が いっぱい 並んでいて、もし
立案に女性がかかっていたら、とても出せなかった案だと思う。

上井たか子さんを始め 竹村さん達 女性議員の懸命な努力で、年収
200万円までという点をのぞいては 阻止することが出来た。

国会議事録を読むと 公然たる侮辱や差別が 平然とのついでに、
ムラムラと怒りがこみ上げて来る。 女性議員がわずか1.4% (衆議院)
の国会が いかなるものか、実感出来るので 是非多くの人に読んでほしいと思った。

ちよほど二年になった均等法も、私達が望んだものとは程遠いものになって
しまった以上 (不十分なもので 得物として十分に活用する努力は必要だけれど)
なるべく早く見直し、改正の機会を持たなければと思うにつけ、地方、国会
共に女性議員の増加が急務であり、その為には、女達が 日々の暮らしと政治
とのつながりを、そして未来とのつながりを見ずしてゆかなければならない。

新人の方が いみじくも言われた、「希望が持たない」に同感。
落ち込むことの多い状況の中に生きて、仲間と集い、語り合うことは、元気の再生産
に何よりの薬 がんばろう「あごら」 もり3. たかこ



竹村泰子さんと

トーク・トーク

Talk・Talk

2年前、選挙に敗れた直後

竹村さんに逢い、勇気を出して話しかけてみた。

一対一で話すのは初めてである。ていねい

な対応にも 気さくさがあり、今さら、彼女をとうしての

国会へのハイ7°が切れたことが悔やまれた。

今も、社会党とは一線を画したところを頑張っている。

細かいことは伺い知れないが、その一線は堅持してほしい。

しかし、昨年、社会党の、都議選に立候補し、みごと
当選した、三井マリ子さん(5月27日、私たちと集まりを持ちます)は、
社会党をいとも感じさせない(東京←札幌の距離感からか?)。

一応、社会党員でありながら、影の「女性党」という感じである。次回

竹村さんを 女性の力で国会に送りたい。

たかはし よしえ



竹村さんと会った後、ユメを見ました。

それは……。

ある日の国会中継。首相ののりくらりの答弁に鋭く切りこむ女性議員。そのまわりの議員席は、花びらを散したように、数多くの女性議員達がすわっているのです。

ユメでしょうか。議場に託児所があって、買い物帰りの主婦や、帰宅途中の会社員、高校生も、お年寄りも、みんな気軽に傍聴するのです。みんな「自分の政治」のことに関心があるから、あたりまえのことなのです。だから、自分の事を話すように、政治のことを話すのです。

ユメが、現実になるまで、がんばろう。ユメから始めて思ひ出し。



プラムに着いたら奥の席に素敵な女性が……。竹村さんと思いがながらも、お若く見えたので声も掛けませんでした。

あごらのメンバーよりも早く会場に来ていろいろ資料を整理しているところでした。お話の中で児童扶養手当の改悪がされそうだったこと、弱い立場の人にしわ寄せがきていることが印象に残りました。そんな弱い立場の人の味方の竹村さんにぜひ次回選挙には当選していただきたいと思いました。

(おぎの きょうこ)

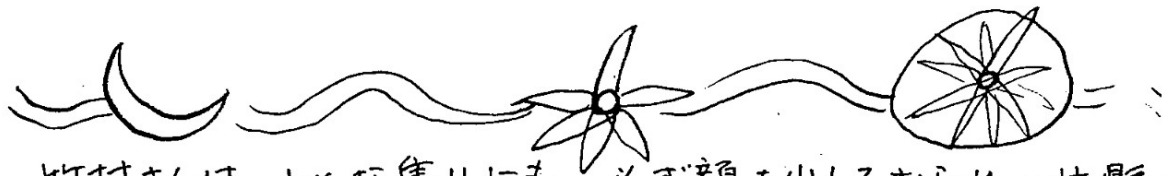


あごら通信を友人より読ませてもらった。おもしろそうだし、ゲストもよい。そこで、4月13日に参加してみた。竹村さんの話から、国民のためになる政治を実現するには非常に困難が多いことがわかる。「今、国会にいないから心配なのよ。」誠意を持って、このことに係わった人の言葉だと思った。女性の手で、草の根で、自分のポリシーで、自分たちの政治をしてみたいとみんな気持ちになる。これ、仕事や家庭で突き当たる壁が、「男社会」という壁だからだ。

(阿部 広美)

女の議員は少ないと聞いていたが竹村さんの話を聞いて改めてそのことを実感した。初めて国会にいらして席に着き(新人は前の方に座る)、何げなく後ろをふりむくと、ドーッと思いがたまり、「全員男でザワァとしたの」と。男と女は同数いはずなのに、衆院512人中女性がたった7人とは……。 “女の代表”をふやさなくてはと実感した。

(細田 菜理子)



竹村さんは、どんな集りにも、必ず顔を出しておられ、一生懸命だなぁと思っていた。今度の選挙では是非、女の代弁者として出ていただきたいし、私達も、支えていく力をたくわえなければと思う。
(松平 明美)



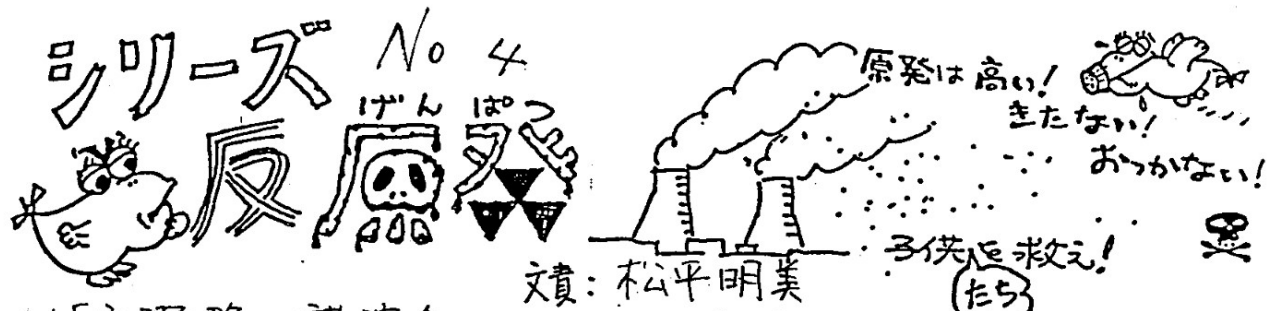
竹村さんに対しては、特に悪い印象は持っていないかった。何となく「主婦」の代表という感じからして、私は遠くからながめさせて頂いていた。やはりそれでも「産み育てる女」の代弁者で活動するのならちょっと違うと思っていたので。しかしYさんに「会って話してみたら、服装や印象で決めつけるのはよくない」と言われ、その通りだと思い、竹村さんの事務所におじゃましたり、本を読ませてもらった。その中の国会議事録を見、感服した。国会での質疑で児童扶養手当や男女雇用平等法についての竹村さんの質問を読んでいくうちに、彼女はリブだと思ったのである。

国会質問で、男たちのまったなかで、男社会の矛盾と性別役割分業からみて追求したあの迫力は、彼女が女としての差別を肌身で感じてくるからこそ出来たのだと思う。

選挙は勝たなければならぬし、色々と難かしくも多々だろう。(しかし、国家親善法を推進している変なおじさん(おのわのぼるん)が当選するよりかは、真に女の代表として男社会を切り崩していくパイプ役として竹村泰三さんを国会へと思った。
(谷 百合子)

**5月
例会
案内**

「女たちのアジア」松井やより著、読書会
わたしたちの暮らしは、東南アジアの人々の犠牲の上にある。
なかにわたらは二重の苦しみと背負っており、つい先日東芝党組合
の買春問題は多くの女性たちの怒りからした。今回はパネラーに、
東南アジアの問題に取り組んで来た人を迎え、彼女ら-見たアフリカの
現情を話してから、ゲストと対談:「わたしとアジア」について考えたい。
5月13日(金) 6:30PM~
純喫茶プライム(南5西2) 第二机野ビル 531-0211



4/7「広瀬隆・講演会」いま、もっとも危険な話を聞いて。

先日、同業の女ばかり20人程の集まりがあった。各自近況を語るようになったので、私は、広瀬隆さんの講演会のことを話した。たまたま「電気はあまっているんですけど!」「とても関心があるので、今頃な本を是非貸して欲しい」「どうしたら慢延の廃棄物施設建設を阻止できるのから」、場違いな話題にもかかわらず、1部もり上がってしまった。

また、近くの学童保育所に「泊原靴凍結」の署名を頼んでおいたのだが、皆とても関心をもっていて、また早く間に数枚か埋まってしまった。こいつが「ヒロセワカミ現象」なのだろうか。原発に対する不安が、広く拡がっていているのを感じる。

4月7日の講演会は、あふんばかりの人でいっぱい、身動きもままならなかった。私達は、いつ事故が起きてもおかしくない状況の中で毎日暮らしているということが、具体的に次々と説明されていく。この文明にたっぷり入り込んでいる私としては「こわい」というよりは、むしろ、いきつ先いきつのかというような神妙な気持ちになってくる。まとうな生き方をせよ。

原発推進側は、この反原発の高まりに対して、さらにPRに力を入れると言っている。しかしただ「安全だ、安全だ」となえるだけで、不安に対して、具体的に反証はしてきていない。利権に群らがる人間の、回答無用の姿勢にはとても、こわさを感じる。

ちなみに

札幌には、各区に1名ずつの北電のホームコンサルタントがいる。主に主婦のバトで、町内会やPTAなどに出かけては、電気の安全な使い方の講習をする。何人かグループで依頼するとどこにでも行くことになる。彼女たちは今や、いく先で原発への抗議のことは浴びせられるという。逃げ出したくなることもあるそうだ。なお、彼女達の雇用形態は北電からの委嘱のようなもので、直接雇用された形にはなっていない。24月で27日以内の勤務、したかつて雇用保険もなければ、年金も健康保険もなし、組合に入ることもできない。

フェミニスト
いっしょ!

フェミニスト

NO.3(連載)



フェミニストおよび未来のフェミニストおよび非フェミニストのための

たのしいたのしいマンガ・映画・小説リスト

後藤 晶子

〈*映画!の部〉

「トツツイー」 ダスティン・ホフマン監督主演 アメリカ映画 これも楽しい!正義感と自分の演劇観に忠実なあまり、あちこちで事件を起こしてしまい、才はあっても売れない俳優が主人公。もうだれもおまえを雇わない、とマネージャーに宣言された彼は、かねてからやりたかった劇を上演する費用を捻出しようと、ドロシーという女性になりテレビのオーディションを受けにゆく。オーディションに受かった彼女は演技のなかでセリフをどんどん変えてしまう。病院ドラマなのだが、酒乱の夫に半殺しにされて入院した患者にいう「あなたももう少し反省して、あなたにも悪いところがあるはず…」という調子のセリフを「あなたを大事にしないそんな夫とは別れなさい!」とやってしまう。院長とキスをするはずのシーンでは、ノートで院長の頭をたたいて難を逃れるし、看護婦も院長から守ってあげる。(確かそんなシーンがあったと思ったんだけど、もし違ったらごめんなさい)積極的でちゃんと自分を主張する、すてきなおばさん事務長の役柄をつくりあげてしまう。これが大当たり。一時的な契約のはずが、マネージャーが勝手に延長してしまい、続けるはめになる。彼女は仕事場でもプロデューサーになれなれしく「トツツイー」と呼ばれると、「ちゃんとドロシーと呼んで」とピシリ。そんな彼女に新人女優も影響され、演技でも実生活でもしだいに自分の意思をはっきりさせるようになる。二人はよい友人になるが、ドロシーは彼女に恋してしまった!打明けられない苦しさのほかに、男としての彼にはすでに恋人がいてその恋人を裏切ることになった苦しみも…。最後はハッピーエンドなのですが、そこまでの彼の矛盾が楽しい。新人女優は(ジェシカ・ラングがやってる)あのプロデューサーとつきあっていて子供までいるが、彼は浮気で別れたいと思っている。が、なかなかふんぎりもつかないし、彼は別れたがらない。ドロシーは彼の浮気の現場を見たことがあり、二人きりになった時に彼女に対して誠実になれと言う。その時のプロデューサーの言訳が、自分が仲間に恋人のことを問いつめられた時の言訳とそっくり同じ。あの時に、ドロシーは自分の矛盾に気付いたんじゃないかな。実生活と、ドラマの役のおばさんと、二重にドロシーのキャラクターが楽しめる、これも文句なく楽しい映画。



『オフィシャル・ストーリー』

ルイス・ブエンソ監督 アルゼンチン映画 戒厳令下のアルゼンチンの行方不明者を扱った作品。主人公は歴史の教師をしている女性。彼女には子供がいる。自分の子として育てているが、夫が家に連れてきた子で自分が産んだ子ではない。夫は何も言わない。いままで疑問を持ったことがなかったが、亡命後帰ってきた友人の話をきいて、子供は逮捕された女から奪われた子で、もらわれたのではないのではないかと疑うようになる。気付いてみると、町では政治犯の行方不明者たちの家族のデモがあり、彼女が教えている生徒たちも現政府に批判的だ。彼女は知ろうとし始める。彼女が自分の生活の中のおかしさを追及するようになる過程がいい。疑問がしだいにふくらんでいき、答を知らずにはいられなくなった時、彼女はそれを追及すると同時に自分の生き方もかえりみる力を持つようになる。この点が、権力側につくことをやめずにおそらくは破滅していく夫と対称的。軍政批判がテーマの映画ではあるが、一人の女性が成長していくドラマでもある。



札幌あごらを休むにあたって。 後藤 晶子

この1年間、わりと自分でがんばってあごらにかかわった。よかったと思う。あごらに参加してること、私も変わったと思ってる。

生活の場で考え、行動してる人たちと関わったことは、今後社会生活していく上で、大きな足場になると思う。自分の生活感覚を大切に考えることの大事さ、現実の生活の中でやってく以上つきあいのいろんな（からみや、かっこ悪さ、それでかろうろうと、ある..は逆さどりにながら、自分自身の生をじっくり生きる人たちのみごとさなんかはほんとに感じとれた。実感できたっていうのは、きっと自分の力になってると思う。「sisterhood」や「相互依存」という言葉も抽象概念としてじゃなく、具体的な行動としてとらえることができてほんとによかった。

みなみなさま、ありがとうございます。

10年後ぐらいには北海道に帰ってくるつもりですので、その時はまた参加させて下さい。ではお元気で。

※ Shoko talk を連載している後藤さんは今年3月大学を卒業し、弘前の病院に就職しました。



三井マリ子さん 来札



5月27日 6:30 P.M. 喫茶フォーラム (南5田17)

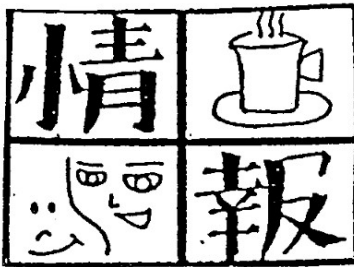
TEL (931-0211)

会場費500円。 知人を知り、三井マリ子。 昨年の都議会選で、自民党候補を3千票近くひきはなし、見事当選。「政治にその力を」、教職(40日前に高校英語教師)の体験から「生徒の悩みを伝えるカウンセラーをもっと増やそう」と赤いスーツ選挙を闘ったという。

議員としての良かたは…… 様々な声と政治の場に届けられること。 議会の外には、フォーラムだった私たちの声と政策に……。 行政への質問に返して政治にゆきつり……。 (あーら札幌の通信交換が届く。 まじおどろいからは確かな手づえが感じられる)

議員としての悪かたは…… フォーラムがなくなること。

石前だけ？ とも社会黨員とあつながら、全く私が感じられない。 悩みも多々あるように。 いっしょに元気のマリ子さん。 7月に政治を語りましょう。



5/14(土) 10:00 ~ 18:30

泊原発電見学ツアー

問・合せ先: 風F会 TEL. 241-0886

見学は、北電泊原発電事務所、北電本社の前でOKがもらえたら、札幌(アリ)二周年の4/26. にまいたろう「まずは泊りにて原電を見よう」を見て、北電の態度がひょう変。「混雑が起ると困る」と断わってきた…… 現在、抗議中…… まずは、いってみようよ。

春です。 コトを脱いで、ついでに(のった♡)一枚脱いで…… (かし眠い。 頭はトヤママ(=ワトさん)浸るさ)。 4月例会は竹村さんのお話。

さわやかでした。 5月は三井マリ子さん来札。 元気の彼せからエネルギーたっぷりもらっちゃおう！ (しかも、5月の例会は13日の金曜日)。 キン茶フォーラムは、黒、ミサで、男社会のウラミつらなる魔せたちの叫び声！

(百合子)

モーニングに忙しくて、やっと連休。 ホーツとして頭が働かない。

私も トリアタマ!

(英理子)

あーら
かき